

心の寄り添い支援で
『生きる』を応援する

親子応援ネットワークSmile

森川 理江

『生きる』を応援する寄り添いとは？

- * ひとりじゃないと思わせてくれる人
- * 信頼できる人・安心できる人
- * 理解しようとしてくれる人
- * 自分を大事に思ってくれる人

繋がる
伴奏する
待つ
心に居る



活動紹介

2019年

令和元年度坂戸市提案型協働事業

★映画会 & お楽しみ交流会 ★親子カフェ

地元の公民館にて開催
ボランティアスタッフ20名

イベント開催のきっかけは、坂戸市児童福祉審議会での市民アンケート『坂戸市は子どもを連れて遊びに行くところがない』と多数意見があった。

過去に子育てセミナーを企画したことがあったが、人が集まらなかった。まずはイベントで人が来てくれることから支援に繋げようと考えた。親子1組でも楽しく遊べる内容をメインにして、孤立しがちな親子でも訪れやすいように工夫した。

親子で

夏の思い出つくりませんか？

地域みんなで

映画会 & お楽しみ交流会

参加
無料

8月24日(土) 午後2時～5時 浅羽野公民館

入退場自由

短編映画上映会

2F 集会室

お楽しみ交流会

午後2時～3時



ペンギンズほか
短編映画を楽しもう♪



午後3時30分～

映画のあとは
ゲームで遊ぼう♪
射的、魚釣りなど



1F 学習室

午後2時～5時 無料開放
ご自由にお使いください

2F 和室

子育て応援カフェ

おしゃべりや情報交換にご利用ください

ホッと一息
しませんか？



○情報提供にご協力をお願いします
子ども会・各種スポーツ団体・子育てサロン・そろばん教室など「子育てに関わる情報」を宣伝したい方は
当日までにチラシ等を浅羽野公民館へお持ちください。
会場にて掲示または、チラシを置くスペースを設けます。

折り紙で
遊ぼう♪



対象：子ども(年齢制限なし)・保護者・子育てを応援したい地域の皆様
★子どもだけ、保護者だけ、乳幼児連れの参加OK！(保育はありません)

お問い合わせ：石上 090-5205-6664 森川 090-4419-1386

共催：浅羽野映画とお楽しみ交流会実行委員会 / 坂戸市



令和元年度坂戸市提案型協働事業

お楽しみ映画交流会

さかろん

映画会

- ・ペンギンズ
- ・トムアンドジェリー



魚つり



射的



音楽体験会



ポップコーン(塩味・キャラメル味)



手作りコリントゲーム



すべて
無料

子育て応援カフェ

ホッと一息
しませんか？



11月23日(土) 午後2時～5時

12月14日(土) 午後2時～5時

浅羽野公民館 2F 集会室

入退場自由

おしゃべりや情報交換にご利用ください

遊びの提供

★おもちゃ等ご自由にお使いください

お楽しみ企画①
午後2時～3時

- 射的
- 魚釣り



ゲームで景品を
ゲットしよう！



情報の提供

★育児本や、絵本など

ご自由に閲覧できます。

★各種子育て情報のチラシ
などはお持ち帰りいただ
けます。

★カフェでおしゃべりや情報交換ができます



カフェ

★お茶菓子とお飲物を
無料提供いたします。



お楽しみ企画②
午後3時～デザート提供

*無くなり次第終了

情報提供にご協力をお願いします

子ども会・各種スポーツ団体・子育てサロン・そろばん
教室など「子育てに関わる情報」を宣伝したい方は
当日までにチラシ等を浅羽野公民館へお持ちください。
会場にて掲示または、チラシを置くスペースを設けます。

対 象：子ども(年齢制限なし)・保護者・子育てを応援したい地域の皆様

★子どもだけ、保護者だけ、乳幼児連れの参加OK！(保育はありません)

お問い合わせ：石上 090-5205-6664 森川 090-4419-1386

主 催：浅羽野映画とお楽しみ交流会実行委員会 / 坂 戸 市



令和元年度坂戸市提案型協働事業



 **魚つりのルール**

◎ゲームのあとに、シールを1コもらってね♪

★ 魚  や、海の仲間たちを、5匹つってね！

★ 5匹  つるのがむずかしいときは
3匹でいいよ♪ 



活動紹介

2020年

令和2年度坂戸市提案型協働事業

★親子応援Smileフェス

コロナでも来てもらえる工夫

- ・人数制限
- ・時短(30分)交代制
- ・予約制
- ・検温、消毒、公民館ガイドラインに沿った対応

ご参加の皆様♡会場内でのコロナ対策にご理解・ご協力をお願いいたします

参加費
50円

親子応援 Smile フェス

11月21日(土) 午後2時～4時30分

浅羽野公民館 受付 1F 学習室

参加方法

『申込み制・先着順』 参加費 50円 ←ゲーム代込

※人数制限・時間制限あり ※飲み物(小ペットボトル)ご用意あり

2F 集会室

ゲームで景品をゲットしよう！射的・魚釣りなど

★30分間・4部制

★各時間・20人まで

①2時～2時30分

お申込みはコチラの QR コードから→

②2時30分～3時



親子応援ネットワーク公式 LINE を友達追加し
て案内に沿ってお申込みをお願い致します

③3時～3時30分

館内でお菓子等を食べるのは禁止です×

④3時30分～4時

参加者全員にお土産(おからのガトーショコラ)あります



☆大人気のコリントゲームもあるよ！

QRコードが読み取れない時は LINEID から友達追加→@352xqomd

2F 和室

ゲーム終了後に利用できるよう！★30分・交代制

おりがみ
お絵かき
コーナー

★折り紙、お絵かきなどができます。

★育児本や、絵本などご自由に閲覧できます。

★各種子育て情報のチラシなどはお持ち帰りいただけます。



対 象：子ども(年齢制限なし)・保護者

★子どもだけ、保護者だけ、乳幼児連れの参加OK！(保育はありません)

連 絡 先：森川 090-4419-1386 (時間帯により繋がらない場合もございます)

共 催：親子応援ネットワーク♡Smile / 坂戸市

令和2年度坂戸市提案型協働事業

親子応援Smileフェス

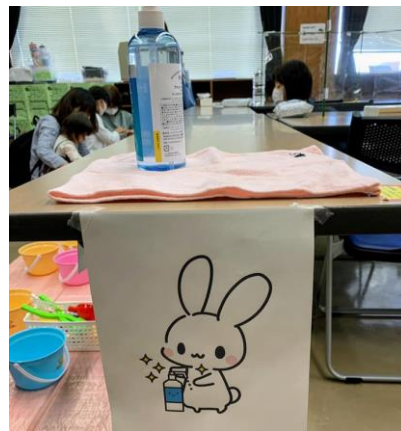
夢中になる射的



くつろぎタイム



いつでも消毒



大人気のコリント



受付



金魚すくい・ボール運び



手作り間仕切り(テーブル)



応援してくれた仲間たち♡



活動紹介

2021年

- ・安心の場
- ・憩いの場

森川ハウス運営開始

♥親子応援

- ・息抜き・相談
- ・遊び場
- ・食事支援



♥若者応援

- ・息抜き・学び場
- ・食事支援
- ・必要に応じた応援



※予約制

090-4419-1386 森川理江
mickey-rie-2@ezweb.nej.jp

利用状況

定期利用者

★親子支援 3家庭

主な活動内容

- ・息抜き ・遊び ・食事支援
- ・送迎支援 ・相談 ・心の寄り添い
- ・子育ての情報・学び

★若者支援 5名

主な活動内容

- ・生きることの応援
- ・息抜き ・金銭管理支援 ・食事支援
- ・相談 ・送迎支援 ・心の伴奏
- ・その他必要に応じた支援

親子支援・若者支援で活躍する猫達



シングルマザーが退院後の食事支援時の様子

職場で保護された猫



若者がアパート入居で飼えなくなった猫



若者支援の現場から…

事例① 引っ越し時の退去費用が未払いのまま。後から30万円位の請求がくる→3名

事例② スマホの自動解約による一括請求→3名

事例③ 親に自立支援金の使い込みをされた為、自立する気持ちに支障がでたケース

事例④ 児童養護施設を卒園した者同士でのスマホの名義貸しによる被害

事例⑤ 漏水でお金がかかる事を知らず、トイレの水が流れっぱなしのを放置
→請求額11万円。漏水申請で減額されるのは半額まで

事例⑥ 仕事を飛ぶ(突然辞める)事がある。
→前職の寮の水道代が未納で、通帳に『サシオサエ』と書かれ引き出せない

事例⑦ 金銭管理ができない若者が福祉の手には負えず、貧困ビジネスに引き渡される

事例⑧ アパートのカーテンレールが落ちたがそのままにしていた
→アパートの設備だから管理会社に連絡すれば無料で直してくれることを教えた。

事例⑨ 電球が切れた。どうしたらいいのかわからない。→電球の型番を写メで撮った。
→ホームセンターで同じ型番を探して取付方を教えた。

若者支援Yさん(毎日新聞記事より)

<くらしナビ・社会保障>

2歳の時から過ごした児童養護施設での「職員による虐待」を明るみに出したYさん(22)。18歳で自立すると、これまで信賴し、「お母さん」と呼んできた施設職員との関係性も変わってしまった。頼る先がなく、自暴自棄になった自分を変えたのは、路上生活での出会いだった。

高校3年の時、検査で「顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー」と分かった。少しずつ顔や肩、腕の筋力低下が進む、国の指定難病だった。

実感がわからないまま、力仕事をする土木建築会社への就職を決めた。周囲に止められることもなかった。

高校卒業と同時に、施設職員である「お母さん」が切り盛りするファミリーホームを出て、自立。1人暮らしを始めた。しかし、職場になじめず、孤立した。連絡を取るようになった実母とも関係が悪化し、SNS(ネット交流サービス)に「産まなきゃよかった」と書き込まれた。「生きるために働かなければならないなら、働かないで死にたい」と思うようになった。

●「お母さん」との壁

「お母さん」に電話し「仕事を辞めたい」と打ち明けた。「大丈夫。頑張って」と励まされたが、何度か電話をかけると面倒そうな口調に気づいた。本当は「辞めてもいいよ」との言葉が欲しかった。

就職から半年後、自殺を図った。一命を取りとめ、病室のベッドのそばで、「お母さん」は言った。「私は施設職員で、あなたの求めるものすべてに応えることはできない。そこは大人になって理解してほしい」。それから、「お母さん」と呼ぶのはやめた。

職を転々とし、病状は少しずつ悪化。最後の会社では、障害者手帳の取得をためらったことで解雇された。公園に寝泊まりするようになった。

心配した役所の職員が、関わりがあった児童養護施設や「お母さん」に連絡してくれたが、「成人はアフターケアの対象外。できることがない。頑張してほしい」との返事だった。21歳になっていた。

●新宿の高架下で

ホームレスが多いと聞き、JR新宿駅の高架下にたどり着いたのは昨年秋。飲食店から出たごみの中から食べられる物を探し、公衆トイレの洗面台の水を使って、時々体をふいた。役所の職員に生活保護を勧められたが、断った。自暴自棄だった。

転機は、路上での出会いだった。動画配信サイト「ユーチューブ」にホームレスを題材とした自作の動画を投稿している人から声をかけられた。自分の半生と「施設内虐待」の告発のインタビューが配信されると、高校生から「我が子が同じ難病」という親世代まで、視聴者が次々と高架下を訪れるようになった。動画は支援団体の目にも留まり、埼玉県への虐待通告にもつながった。今後のことを、少しずつ考えられるようになった。

Yさんは言う。「どんな自分でも受け入れてほしくて(職員に)求めすぎていた。『お母さん』って言葉は子どもには特別だけど、学校の先生みたいなものだったんだ」。今でも「心の中では『お母さん』と呼んでいる」が、もう連絡を取るつもりはない。

記者は「お母さん」だった職員に少しだけ話を聞いた。取材は「控えたい」としつつ「本当に楽しみにYくんを世の中に送り出した。行き違った部分もあるが、温かい気持ちで見守りたい。かけがえのない存在であったことに偽りはありません」と語った。

●新たな住居を得る

今年の春先には、生活保護の受給を決め、住居を得た。これから障害者手帳を取得し、就職活動をするつもりだ。冷蔵庫に張られたシールには、大きな文字で「社会復帰を頑張る!」と手書きされていた。

【谷本仁美、黒田阿紗子】毎日新聞より 2021年春

2022年春 再びホームレスに

★心の不安定を表す一歩。心に問題があることを隠さない一歩。

複雑な心理による心の暴走・自暴自棄・自殺願望があった

- ・黒か白かという極端な思考
 - ・中途半端な関係が不可能だとう心理
- 関わりを持つことで、信頼や安心が深まるほどに不安定になっていく。



♥心の伴奏をしていく約束で心の安定をはかる取り組みをした。

→態度や行い、多少の被害を被っても、次回策だけ伝えて、
変わらずに『ここに居る』ことを、
繰り返し繰り返し、少しの言葉とたくさんの行動で伝えた。

2022年 秋(今) 路上を卒業。再び社会復帰を目指す

★これまでは『こうしなければならない』という思い込みで、自立することを頑張りすぎたり、きちんとやること、正しくあることを極端に行動に移したことで、挫折をしたり、失敗をしたりすることが多かった。



♥自分のペースで進んでよいと知った。
自分のやりたいことで、自分にできる何かを探していく。
今は希望が持てている。
以前のように毎日死にたいと思わなくなっている。
一人で突っ走らずに、動く前に相談する。
何かをキッカケにして自暴自棄になるクセを直したい。

親子応援ネットワーク

親子・若者支援を中心に活動しています♪「親子・高齢者・地域の方々」が、それぞれの居場所を持ち、笑顔を増やす取り組みを広げていくことで「人、環境、動物」すべてにとって、優しい街になることを願いスタートいたしました。

Happy子育てのすすめ

スモールステップでみんなHappy。子どものペースで大丈夫。焦りは禁物。なぜなら...発達に『飛び級』は無いのです

必要なのは2つの心構え

①発達には個人差があることを理解する

他の子どもと比べない。 その子のペースでOKなのだと親が理解を示しながら成長を見守る。

●メリット

子どもは安心して笑顔になる →生きる力と自尊心が培われる

→イジメの心配がなくなる

②スモールステップを心がける

目先の目標を低く設定する。

『日常の中で問題行動が多い場合 注意を繰り返しても改善しない... そんな時は、 問題行動を指摘しないで、ほんの少しでも、良い行動が できた時を見つけて褒める。 小さな『出来た!』が自信になる。

●メリット

バトルのような子育てからの開放。 普段、不必要に注意をしないことで

いざという時に、鶴の一声が効く。 命の危険に関わるような事など、本当に必要な大事な場面での注意が

子どもの耳に入りやすくなる

わかってはいるけど、それがなかなか難しい...そんな方へ

良かったら私の経験を参考にしてみてください。

私は元々...かなりのせっかち。待てない性格で、子育てには向いていないと、つくづく思う時がありました

そんなスタートからでしたが息子の笑顔を守りたくて

『息子の成長のペースに寄り添い、息子の心に寄り添う』そんな子育てをする！と、心の底から...決心しました

その瞬間から、”息子の笑顔がある未来”は作られたのです

PROFILE

子育て応援ネットワークSmile

代表 森川理江

発達障害児を療育した経験から、親子の笑顔を応援する企画をしたり、森川ハウスを運営しています。

一人で悩まずに、

子どもの持つ光に視点をあてるHappy子育てを推奨。

子どもの心に寄り添う子育てで、親子が笑顔になれるような企画や情報などを発信していきます

【森川 理江のプロフィール】

現在社会人の息子がいます。

大学卒業後、現在、正社員としてはたらいしています。

息子が2歳の時に、発達障害(ADHD・自閉傾向)があることに気づき、すぐに実績のある講師や医師の元に通い、学びながら療育をしてきました。

育児の当初、大変な出来事が重なり、私自身がうつ病やパニック発作を体験しております。

又、子どもが小児ぜんそくを発症したことで健康についての学びもしてきました。

どんな状況であっても、子育てを楽しくすることができると学んだこの経験を活かし、親子が笑顔になれるお手伝いをしていきたいです。

★過去経歴

- ・地域子育て支援者養成講座受講(県主催)
- ・家族療法受講(県主催)
- ・放課後デイサービス職員
- ・ファミリーコンサルタント協会アドバンスコース受講

★過去活動

- ・子育てサロン・セミナーを毎月開催(4年間)
- ・不登校児支援(学校と連携)
- ・小学校地域連携部リーダー
- ・市と共催イベント、子育て応援カフェを開催

●現在

- ・浅羽野地区子ども会育成連絡協議会 会計
- ・森川ハウス運営